



人が届ける 信頼



読売新聞は2日、1874年(明治7年)の創刊から150周年を迎えた。公正な報道と言論で読者の期待と信頼に応えたい。その変わらない姿勢や、新たな時代に向けた挑戦について、日本テレビの水ト麻美アナウンサーが、山口寿一・読売新聞グループ本社社長に聞いた。



守り抜く 公正なニュース

水ト 150周年おめでとうございます。ありがとうございます。今のお気持ちを聞かせてください。
山口 「読売新聞」の題号は、国内に現存する新聞の題号としては最も歴史が長く、重みを感じます。それと、最近のテクノロジーの進化で、社会に流通する情報の量が爆発的に増えたのですが、質は劣化している。正確で公正なニュースと言論を提供し続ける新聞の役割はより重くなっていると感じています。
水ト 150年間、メディアを巡る状況はめまぐるしく変わってきました。
山口 特に最近10年、20年の変化の速度は、人類の過去の歴史になかったほどではないかと思えます。情報やコミュニケーションを中心に変化している。メディアは激しく巻き込まれている。その中で適応しないといけないこと、変えずに守らなければならないことを、きちんと見定めていくことが大事です。
水ト 150年に合わせて「読売行動指針」を策定したと伺いました。
山口 社員から出てきたアイデアがきっかけです。150年の節目に、社員が日々行動する際の羅針盤になるような指針を作ろうということで、若手、中堅の社員14人が策定委員となり、ほぼ1年かけて練り上げました。「挑戦」「信頼」「謙虚」など11の価値観は、皆が共有、共感できるものになっています。
水ト 「読売信条」が土台にあるそうですね。
山口 読売新聞は戦後、深刻な労働争議で4日間、新聞を発行できなかつたことがあります。そのさなか当時の馬場恒吾社長が作ったのが読売信条です。「われらは左右両翼の独裁思想に対して敢然として戦う。それは民主主義の敵であるからだ」と、言論の自由を守るために独裁思想と戦うことをはっきりと掲げました。2000年に改定した今の読売信条も根幹の考え方はそのままです。

(2面に続く)

増えるフェイク 新聞の役割重く



山口寿一
読売新聞
グループ本社社長

水ト麻美
日本テレビ
アナウンサー

読売新聞 創刊150周年記念特集

- 2・3 未来へ決意
- 4・5 重ねた足跡
- 6 粘りの特報
- 9 主張に責任
- 10 企画多彩に
- 12 地域と共に
- 14 G栄光の柱
- 15 選手を応援
- 16 次世代の味方
- 18 デジタル進化
- 21 守り継ぐ美

150th 読売新聞

150年 時代と歩む

新天皇陛下即位
令和元年 19

東日本巨大地震
14

大谷50-50
3連発2盗 大リーグ初

創刊 150周年
1874

米リーマン破綻
20

安倍首相撃たれ死亡
21

露、ウクライナ侵攻
22

米の中核狙い同時テロ
23

皇太子さま雅子さまご結婚
93

52人乗り日航機墜落
86

クリコ社長ら致される
85

ホテルニュージャパン火災
82

田中前首相を逮捕
75

成増率、マイナスに
73

日中平和友好条約に調印
78

日中角前首相逮捕
76

第1次石油危機
77

巨人9年連続日本一
74

三島由紀夫自殺
72

三島由紀夫自殺
71

三島由紀夫自殺
70

三島由紀夫自殺
69

三島由紀夫自殺
68

三島由紀夫自殺
67

三島由紀夫自殺
66

三島由紀夫自殺
65

三島由紀夫自殺
64

三島由紀夫自殺
63

三島由紀夫自殺
62

三島由紀夫自殺
61

三島由紀夫自殺
60

三島由紀夫自殺
59

三島由紀夫自殺
58

三島由紀夫自殺
57

三島由紀夫自殺
56

三島由紀夫自殺
55

三島由紀夫自殺
54

三島由紀夫自殺
53

三島由紀夫自殺
52

三島由紀夫自殺
51

三島由紀夫自殺
50

三島由紀夫自殺
49

三島由紀夫自殺
48

三島由紀夫自殺
47

三島由紀夫自殺
46

三島由紀夫自殺
45

三島由紀夫自殺
44

三島由紀夫自殺
43

三島由紀夫自殺
42

三島由紀夫自殺
41

三島由紀夫自殺
40

三島由紀夫自殺
39

三島由紀夫自殺
38

三島由紀夫自殺
37

三島由紀夫自殺
36

三島由紀夫自殺
35

三島由紀夫自殺
34

三島由紀夫自殺
33

三島由紀夫自殺
32

三島由紀夫自殺
31

三島由紀夫自殺
30

三島由紀夫自殺
29

三島由紀夫自殺
28

三島由紀夫自殺
27

三島由紀夫自殺
26

三島由紀夫自殺
25

三島由紀夫自殺
24

三島由紀夫自殺
23

三島由紀夫自殺
22

三島由紀夫自殺
21

三島由紀夫自殺
20

三島由紀夫自殺
19

三島由紀夫自殺
18

三島由紀夫自殺
17

三島由紀夫自殺
16

三島由紀夫自殺
15

三島由紀夫自殺
14

三島由紀夫自殺
13

三島由紀夫自殺
12

三島由紀夫自殺
11

三島由紀夫自殺
10

三島由紀夫自殺
9

三島由紀夫自殺
8

三島由紀夫自殺
7

三島由紀夫自殺
6

三島由紀夫自殺
5

三島由紀夫自殺
4

三島由紀夫自殺
3

三島由紀夫自殺
2

三島由紀夫自殺
1

三島由紀夫自殺
0

三島由紀夫自殺
-1

三島由紀夫自殺
-2

三島由紀夫自殺
-3

三島由紀夫自殺
-4

三島由紀夫自殺
-5

三島由紀夫自殺
-6

三島由紀夫自殺
-7

三島由紀夫自殺
-8

三島由紀夫自殺
-9

三島由紀夫自殺
-10

三島由紀夫自殺
-11

三島由紀夫自殺
-12

三島由紀夫自殺
-13

三島由紀夫自殺
-14

三島由紀夫自殺
-15

三島由紀夫自殺
-16

三島由紀夫自殺
-17

三島由紀夫自殺
-18

三島由紀夫自殺
-19

三島由紀夫自殺
-20

三島由紀夫自殺
-21

三島由紀夫自殺
-22

三島由紀夫自殺
-23

三島由紀夫自殺
-24

三島由紀夫自殺
-25

三島由紀夫自殺
-26

三島由紀夫自殺
-27

三島由紀夫自殺
-28

三島由紀夫自殺
-29

三島由紀夫自殺
-30

三島由紀夫自殺
-31

三島由紀夫自殺
-32

三島由紀夫自殺
-33

三島由紀夫自殺
-34

三島由紀夫自殺
-35

三島由紀夫自殺
-36

三島由紀夫自殺
-37

三島由紀夫自殺
-38

三島由紀夫自殺
-39

三島由紀夫自殺
-40

三島由紀夫自殺
-41

三島由紀夫自殺
-42

三島由紀夫自殺
-43

三島由紀夫自殺
-44

三島由紀夫自殺
-45

三島由紀夫自殺
-46

三島由紀夫自殺
-47

三島由紀夫自殺
-48

三島由紀夫自殺
-49

三島由紀夫自殺
-50

三島由紀夫自殺
-51

三島由紀夫自殺
-52

三島由紀夫自殺
-53

三島由紀夫自殺
-54

三島由紀夫自殺
-55

三島由紀夫自殺
-56

三島由紀夫自殺
-57

三島由紀夫自殺
-58

三島由紀夫自殺
-59

三島由紀夫自殺
-60

三島由紀夫自殺
-61

三島由紀夫自殺
-62

三島由紀夫自殺
-63

三島由紀夫自殺
-64

三島由紀夫自殺
-65

三島由紀夫自殺
-66

三島由紀夫自殺
-67

三島由紀夫自殺
-68

三島由紀夫自殺
-69

三島由紀夫自殺
-70

三島由紀夫自殺
-71

三島由紀夫自殺
-72

三島由紀夫自殺
-73

三島由紀夫自殺
-74

三島由紀夫自殺
-75

三島由紀夫自殺
-76

三島由紀夫自殺
-77

三島由紀夫自殺
-78

三島由紀夫自殺
-79

三島由紀夫自殺
-80

三島由紀夫自殺
-81

三島由紀夫自殺
-82

三島由紀夫自殺
-83

三島由紀夫自殺
-84

三島由紀夫自殺
-85

三島由紀夫自殺
-86

三島由紀夫自殺
-87

三島由紀夫自殺
-88

三島由紀夫自殺
-89

三島由紀夫自殺
-90

三島由紀夫自殺
-91

三島由紀夫自殺
-92

三島由紀夫自殺
-93

三島由紀夫自殺
-94

三島由紀夫自殺
-95

三島由紀夫自殺
-96

三島由紀夫自殺
-97

三島由紀夫自殺
-98

三島由紀夫自殺
-99

三島由紀夫自殺
-100

三島由紀夫自殺
-101

三島由紀夫自殺
-102

三島由紀夫自殺
-103

三島由紀夫自殺
-104

三島由紀夫自殺
-105

三島由紀夫自殺
-106

三島由紀夫自殺
-107

三島由紀夫自殺
-108

三島由紀夫自殺
-109

三島由紀夫自殺
-110

三島由紀夫自殺
-111

三島由紀夫自殺
-112

三島由紀夫自殺
-113

三島由紀夫自殺
-114

三島由紀夫自殺
-115

三島由紀夫自殺
-116

三島由紀夫自殺
-117

三島由紀夫自殺
-118

三島由紀夫自殺
-119

三島由紀夫自殺
-120

三島由紀夫自殺
-121

三島由紀夫自殺
-122

三島由紀夫自殺
-123

三島由紀夫自殺
-124

三島由紀夫自殺
-125

三島由紀夫自殺
-126

三島由紀夫自殺
-127

三島由紀夫自殺
-128

三島由紀夫自殺
-129

三島由紀夫自殺
-130

三島由紀夫自殺
-131

三島由紀夫自殺
-132

三島由紀夫自殺
-133

三島由紀夫自殺
-134

三島由紀夫自殺
-135

三島由紀夫自殺
-136

三島由紀夫自殺
-137

三島由紀夫自殺
-138

三島由紀夫自殺
-139

三島由紀夫自殺
-140

三島由紀夫自殺
-141

三島由紀夫自殺
-142

三島由紀夫自殺
-143

三島由紀夫自殺
-144

三島由紀夫自殺
-145

三島由紀夫自殺
-146

三島由紀夫自殺
-147

三島由紀夫自殺
-148

三島由紀夫自殺
-149

三島由紀夫自殺
-150

歴史刻む 53486号

1874年(明治7年)の創刊以来、読売新聞は150年間にわたり、5万3486号の新聞を発行してきた。時にはうれしいニュースを伝え、時には悲しい事件や災害を報じた。忘れてはならない戦争もあった。その紙面は人々の暮らしと社会の移り変わりを映し出し、歴史を刻みでいる。

読売新聞創刊
74

読売新聞は1874年11月2日、半紙六の裏表2ページで創刊された。題号は「江戸時代の『読みながら売る』がわら版の販売方式に由来する。創刊時の部数は約200部、大衆にも読みやすい紙面が評判を呼んだ。

紙面でたどる 1874-2024

明治元年 1868年

1905 日露戦争

1909 伊藤博文暗殺

1912 大正元年

1914 図「よみうり婦人付録」新設

「よみうり婦人付録」は、女性読者のために、流行や暮らしのヒントなどを掲載した。日本の日刊紙で初の本格的な家庭画だった。

1917 図東海道駅伝徒歩競走開催

「東海道駅伝徒歩競走」は、京都から東京までを23区間に分け、学生たちが昼夜なほに走り続けるものだった。駅伝という競技も、その言葉も、このイベントから始まった。

1923 図関東大震災で東京・銀座の社屋炎上

1925 図「よみうりラヂオ版」新設

1925年、ラジオの本放送が始まった。読売新聞は「よみうりラヂオ版」を創設し、番組紹介を始めた。今日のテレビ・ラジオ欄の原型で、大反響を呼んだ。

1928 衆議院初の普通選挙

1931 図夕刊発行

1932 図大日本東京野球倶楽部(巨人軍の前身)発足

1936 図オリンピックを「五輪」と表記

1936年はベルリン五輪の年。7月25日の読売新聞夕刊に、「五輪旗 伯康(ベルリン)に高く」と登場するのが、オリンピックを「五輪」と言い換えた最初の例だった。

1945 図空襲で社屋炎上

1946 図現行題字の使用開始、読売信条発表

1947 図日本国憲法公布

1948 図大阪読売発刊

1952 図日本テレビ本放送開始

1957 図英字新聞創刊

読売新聞社の日刊英字新聞は、1955年に創刊された。題号は「THE JAPAN NEWS」になっている。

1964 東京オリンピック開く

1968 図読売ランド(現よみうりランド)オープン、西部読売発刊

1972 図読売日本文芸倶楽部設立

1973 図読売日本文芸倶楽部設立

1974 図読売日本文芸倶楽部設立

1975 図読売日本文芸倶楽部設立

1976 図読売日本文芸倶楽部設立

1977 図読売日本文芸倶楽部設立

1978 図読売日本文芸倶楽部設立

1979 図読売日本文芸倶楽部設立

1980 図読売日本文芸倶楽部設立

1981 図読売日本文芸倶楽部設立

1982 図読売日本文芸倶楽部設立

1983 図読売日本文芸倶楽部設立

1984 図読売日本文芸倶楽部設立

1985 図読売日本文芸倶楽部設立

1986 図読売日本文芸倶楽部設立

1987 図読売日本文芸倶楽部設立

1988 図読売日本文芸倶楽部設立

1989 図読売日本文芸倶楽部設立

1990 図読売日本文芸倶楽部設立

1991 図読売日本文芸倶楽部設立

1992 図読売日本文芸倶楽部設立

1993 図読売日本文芸倶楽部設立

1994 図読売日本文芸倶楽部設立

1995 図読売日本文芸倶楽部設立

1996 図読売日本文芸倶楽部設立

1997 図読売日本文芸倶楽部設立

1998 図読売日本文芸倶楽部設立

1999 図読売日本文芸倶楽部設立

2000 図読売日本文芸倶楽部設立

2001 図読売日本文芸倶楽部設立

2002 図読売日本文芸倶楽部設立

2003 図読売日本文芸倶楽部設立

2004 図読売日本文芸倶楽部設立

2005 図読売日本文芸倶楽部設立

2006 図読売日本文芸倶楽部設立

2007 図読売日本文芸倶楽部設立

2008 図読売日本文芸倶楽部設立

2009 図読売日本文芸倶楽部設立

2010 図読売日本文芸倶楽部設立

2011 図読売日本文芸倶楽部設立

2012 図読売日本文芸倶楽部設立

2013 図読売日本文芸倶楽部設立

2014 図読売日本文芸倶楽部設立

2015 図読売日本文芸倶楽部設立

2016 図読売日本文芸倶楽部設立

2017 図読売日本文芸倶楽部設立

2018 図読売日本文芸倶楽部設立

2019 図読売日本文芸倶楽部設立

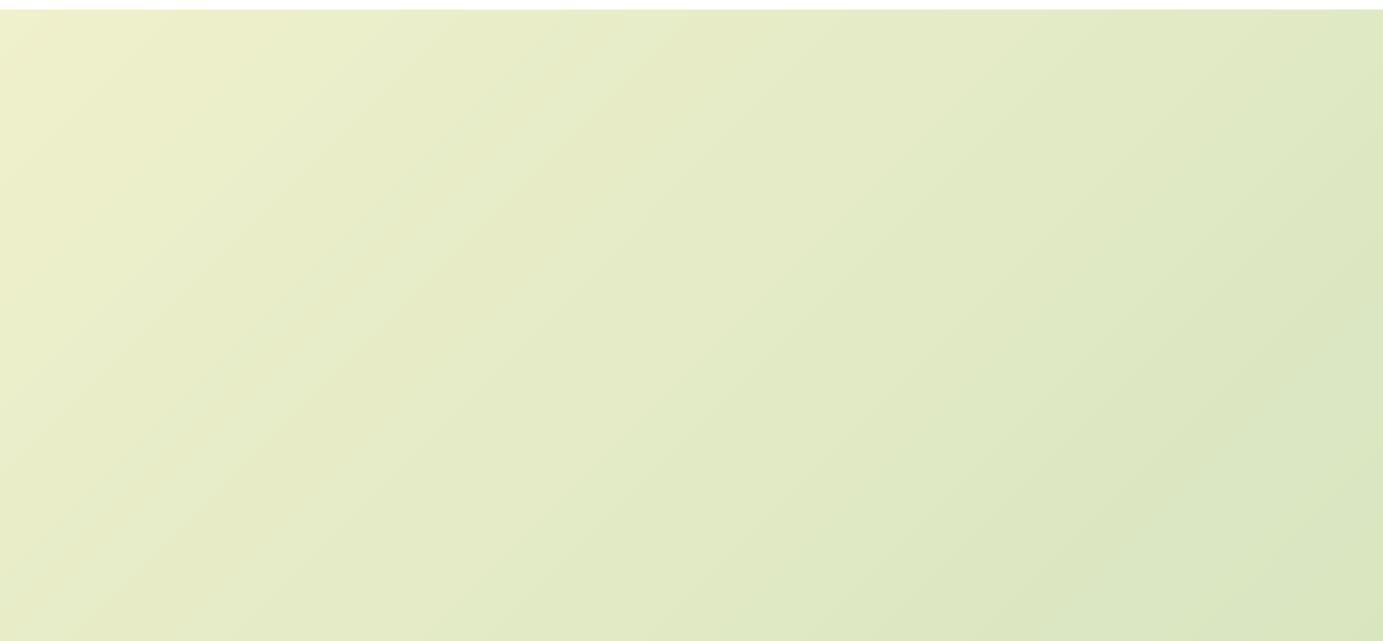
2020 図読売日本文芸倶楽部設立

2021 図読売日本文芸倶楽部設立

2022 図読売日本文芸倶楽部設立

2023 図読売日本文芸倶楽部設立

2024 図読売日本文芸倶楽部設立



古今東西の文化 広める

読売新聞社は大型美術展や音楽公演などの事業を通じて、古今東西の文化芸術を紹介し、社会的な認知度を高めようとする。近年は文化財や伝統文化を未来に継承、発展させる活動にも注力している。

国宝修理 未来へ「紡ぐ」

貴重な文化財を未来へと伝えていくためには、定期的な修理が欠かせない。しかし、国宝や重要文化財で、あつても所蔵者が費用の負担を迫られるのが実情だ。2018年11月に始まった「紡ぐプロジェクト」は、文化庁、宮内庁と連携・協力し、企業からの協賛金などを助成している。既に助成対象は43件。所蔵者からは「文化財を50年、100年と長く残すための修理ができてありがたい」との声が届いている。

1912年絵画展 社屋での開催

美術展を巡ると、1912年(大正元年)には社屋で、一般向けに岸田劉生らの絵画展を開いている。戦後の51年にはマティス展で国民の文化的飢餓感にこたえた。94年に東京・上野の国立西洋美術館で開かれた西洋近代絵画展「パルナックス・コレクション展」は語り継が

れている。米国の収集家アルパート・C・パルナックスの門外不出とされたセザンヌやルノワール、マティスらの傑作をひと目見ようと、連日長蛇の列ができた。今年の夏も、全長約37kmのパタゴティタン・マヨルムの全身復元骨格標本を日本で初公開した「巨大恐竜展2024」などの展覧会がにぎわった。奈良国立博物館で毎年秋に開催される正倉院展には2007年から特別協力している。

熱狂ビートルズ

主催した音楽公演で金孝塔と評されるのは1966年の6月30日から日本武道館で3日間開催したザ・ビートルズ公演だ。世界最高の人気グループに若者が熱狂する一方、武道館の使用には「武道振興の施設でロックは不謹慎」との声も上がった。批判する識者とファンの討論番組が放送されたほどだった。結果的に、アーティストたちはこの後、武道館でのコンサートを目指し、62年創立の「読売日本交響



- 読売文学賞 1949年9月～
- 読売日本交響楽団 1 62年4月～
- ビートルズ日本公演 2 66年6～7月
- 囲碁・将棋戦 76年1月～
- よみうり写真大賞 79年1月～
- 読売書法展 84年8月～
- 将棋・電王戦 3 87年11月～
- ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム 88年11月～
- 世界らん展 91年2月～
- パルナックス・コレクション展 4 94年1～4月
- 読売・吉野作造賞 99年12月～
- 読売あおぞら賞 2006年12月～
- オルセー美術館展 14年7～10月
- 紡ぐプロジェクト 5 18年11月～
- Action! 伝統文化 23年6月～
- マティス展 24年2～5月
- 巨大恐竜展 24年7～9月

読売新聞の主な文化事業

パルナックス展 日に日に混雑



東京都美術館の高橋明也館長(71)＝写真＝は、「パルナックス・コレクション展」を監修した。来場者は読売新聞社が主催する展覧会最多の107万人に上った。行列は、上野恩賜公園の噴

水周辺だけでは収まらず、500m近く離れた西郷隆盛像付近まで延び、チケット購入も合わせると入場まで最大7時間かかったという。展覧会では、日本人の目線に合わせ絵の中心を1m55ぐらいの高さに設定する。混雑を見込

んで1m65で開幕したが、ロコミで話題が広がり、混み合う館内でも見えるように、「休館日ごとに高さを上げるなどの対策をしていって、最後は1m90になった」と異例の上昇を懐かしむ。パルナックスの遺言で非公開を原則としていたコレクションが来日を果たしたのは、「個人的な読売の社員が人脈を生かしたからこそだ」と振り返った。

コボちゃん



40年以上あつという間

植田先生から



読売新聞、150周年です。おめでとうございませう。以上は言葉があらはれないのに、と思えます。読売新聞から連載依頼をいただいた当時、寝る暇もないほどの忙しきでしたが、「二日一本なら描ける」と

思って引き受けたんです。男の子が主人公の漫画は描いていなかっただけです。すぐに決めました。僕は小さい頃から、親戚になぜか「こぼちゃん」と呼ばれていました。「コボちゃん」は、子供の頃を思い出しながら描いています。描き始めると、色々な制約もわかってきました。△食べられる▽じゃなくて△食べられる▽など、新聞掲載なので言葉遣いをして

かりしないとけない。雑誌作品の何倍もの力をかけるようになった。あつという間に、気づけば40年以上という感じ。新聞は近代化の始まりのような存在に感じます。明治時代から始まって、批評や代弁、意見など、そのときどき世の中のことについていってほしい。僕もまだしばらくは頑張りたいので、今後ともよろしくお願いいたします。